

会 議 録

内容承認	公開・ 非公開	＜開催日＞令和6年5月24（金）		＜傍聴人数＞ 3名	
森下会長 鈴木委員 撫養委員		＜時 間＞14:00～15:45		＜傍聴室＞	
		＜場 所＞岸和田市役所新館 4階 第1委員会室		岸和田市役所新館 4階 第1委員会室	
承認	公開				

＜名称＞ 第31回（令和6年度第1回）岸和田市子ども・子育て会議								
----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

＜出席者＞ （岸和田市子ども・子育て会議委員出欠状況）○は出席、■は欠席								
森下	中林	尾野	和泉	阪口	高松	中川	新川	新田
○	■	○	○	○	○	○	○	○
長谷川	網代	藪	撫養	鈴木	阪本	梅崎	茂野	
○	○	○	○	○	○	○	○	

（事務局） 大西子ども家庭応援部長、藤浪教育次長兼教育総務部長、長岡学校教育部長、池内生涯学習部長、鈴木子育て支援課長、津田子育て施設課長、山田こども園推進課長、青田子ども家庭課長、柿花教育総務課長、松本学校教育課長、井出生涯学習課長 他								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

＜議題等＞ 1 開会 2 委嘱式 3 議題 （1）第3期「岸和田市子ども・子育て支援事業計画」策定に係る市民アンケート調査結果について （2）その他（意見交換）								
---	--	--	--	--	--	--	--	--

＜概要＞ ■開会 ■委嘱（任命）式 ■議題（1）について名豊株から説明 ■説明を受け、質疑・応答 ■議題（2）について ■閉会								
---	--	--	--	--	--	--	--	--

■署名委員指名

【議 長】

まず、本会議の署名委員として、鈴木委員と撫養委員を指名いたします。よろしくお願いします。

■議題

(1) 第3期「岸和田市子ども・子育て支援事業計画」策定に係る市民アンケート調査結果について

【議 長】

それでは次第に従いまして、議題の(1) 第3期「岸和田市子ども・子育て支援事業計画」策定に係る市民アンケート調査結果について、事務局から説明をお願いします。

—事務局（名豊株式会社）より市民アンケート調査結果について説明—

【議 長】

ただ今、事務局より第3期「岸和田市子ども・子育て支援事業計画」策定に係る市民アンケート調査結果について説明がありました。

委員の皆様からご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

また、質問につきましては、一問一答形式でお願いします。

【委 員】

103 ページの(9)の地域子育て支援拠点事業について「利用していない」の割合が高いという話がありましたが、聞き方として地域子育て支援拠点事業にどのようなものがあるのか説明があったのかどうかお伺いしたいです。あるのに利用していないというのは前にも周知が必要だと話がありましたが、「利用していない」の割合が多いのはどうしてなのか、地域子育て支援拠点事業についてという言葉が一括りになっていますが、私もわかりづらかったので、質問の情報があったのでしょうか。

【議 長】

ありがとうございます。103 ページの地域子育て支援事業について、アンケートの前後にこれ以外に何か説明があったのかどうか、お願いします。

【事務局】

事務局の方から説明いたします。こちらのアンケート結果は、アンケートと一対一になっておりますので、これが全てアンケート調査に対しての結果になっておりま

す。どこかを省いているということではなく、そのまま載せております。従って、今委員がおっしゃいました具体的な事業名等々は入っておりません。

【議 長】

よろしいでしょうか。

【委 員】

回答される方は理解されていなくて、何かわからないから「利用しない」にしておこうというようなことは考えられますか。

【事務局】

当然たくさんの方の回答がありますので、そのような可能性は十分考えられると思います。

【議 長】

ありがとうございます。他に何かございませんか。

【委 員】

115 ページの(3)で平日のテレビ・ビデオ(ゲームを含む)の1日あたり平均視聴時間を聞く質問がありますが、テレビ・ビデオを長時間見過ぎていないだろうかという健康被害に対する質問だと思いますが、今のお子さんが見ているものの主流は動画 youtube になると思います。質問の中にテレビ、ビデオ(ゲームを含む)と書かれていますが、動画という文言は出てこないで、答える側の意識としてはそこが含まれていたのかなと思います。単純に数字だけ見ると、少しずつ視聴時間が減っているようなイメージになりますが、実際に youtube などを入れると、視聴時間が伸びていくような印象があるのですが、いかがでしょうか。

【議 長】

事務局の方からお願いします。

【事務局】

おっしゃるように、ビデオというところが、普通のテレビのビデオや動画というところも、今の子育て世代の方であれば、それも含まれると認識されている方もいらっしゃると思いますし、逆にスマホでの youtube や動画というように細かいところまで質問がなかったので、省いていらっしゃる方も中にはいると思います。こちらのアンケートが国や大阪府から指定された設問なので、手入れすることができないので、全部が把握しきれぬか分かりませんが、おっしゃるような所はあるかと

思います。

【議 長】

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【委 員】

私には小学 4 年生のこどもがおりますので、まさにこのアンケートを自宅の方にいただきまして、回答しようと思って始めたのですが、とにかく量が多くて、実際に答えていくうちにしんどくなりながら、調査期間が2月29日から3月22日の1か月の間に回答してくださいということで、時間のある時にしようと思い、後回しにしていたのですが、回答率が悪いのでぜひお出してくださいという催促の案内をいただいて、何が何やらわからないまま出させていただきました。実際に3,000通配られて、回答率が半数にも満たないということで、他の家庭の方がどう思われているかはわかりませんが、私としてはもう少し簡潔な内容にさせていただいて、その他にご意見ある方に関しては、自由記述という欄を設けていただければ、回答率ももっと上がって、色んな方の意見を反映できたのではないかと、すごく残念に思います。

【議長】

ありがとうございます。国から求められた項目があり、量が非常に多いと思うのですが、自由回答の結果は219ページ以降に書いてくださっている方もいますので、参考にするところではありますが、非常に量が多いということで、やはりアンケートの取りにくさはあったと思います。他にはいかがでしょうか。

【委 員】

先ほどの質問については、次回の質問の時に細かい内容を入れるといいのではないかと思います。また、今後の計画に向けて話していく中で、認定こども園については、7時台の利用者が少なく、8時以降の利用者が多いが、学童保育になると学校が休みの日は7時くらいから始めて欲しいという希望の数が多くあるので、そのようなことも踏まえてそれを反映させた事業としてやっていくことが大事だと思います。学童保育については昔から朝早い時間帯から始めて欲しいと言われていますが、実際にアンケートでこのような結果があった場合、何年か後にこうなっていくであろうというように、市と業者さんとの話し合いの中で入れて、前向きな話になって欲しいと思います。また、今回のアンケートの有効回答数が43%というのはとても低いと私も思います。これは封筒で来て、WEBのサイトでもできるという形でしょうか。

【事務局】

封筒で届いて、WEB に繋がるような形になっています。

【委 員】

前回岸和田市としてはダウンしていたが、全国的には 40% でまあまあだったとおっしゃっていましたよね。従って今回は全国的に見ると優秀な方になりますか。

【事務局】

実際に他の県を見ると、4 割切っている所が結構あります。先ほどおっしゃっていたように量が多いということや、インターネットで実施しても途中で一時保存ができないため辞めてしまったという意見もありました。

【委 員】

あまりこういう事に市民が興味がないのではないかと思います。両方で 6,000 配って回答数が半分もないので、周知の問題かもしれませんが、興味がないのではないかと、残念に思います。

【議 長】

ありがとうございます。それでは、次お願いします。

【委 員】

子育て広場をしまして、現に就学前のお子さんのお母さんが 2 人いらっちゃって、2 人ともアンケートが来たそうです。1 人は一生懸命やってみたけれど、段々分からなくなってきて、面倒になってまだ回答していないという事で、もう 1 人は、何とかやってみたけれど、意味が分からないと言っていました。その他にもアンケートが分かりにくい、書いている意味が分からないとやっていくに連れて、そうになっていくという話を聞いて、私も見させてもらいましたが、小さいお子さんがいる子育て中のお母さんにはここまで回答するのは難しいと思いました。

【議 長】

ありがとうございます。次お願いします。

【委 員】

この回答率とお母さんから生の声としてどのように回答したらいいのかわからなくなったという話があったが、PISA の学力調査というのがあるのはご存知でしょうか。OECD によって行われているものですが、調査の方でやはり日本の子どもたちの読解力が落ちていると懸念されています。この点について、日本の公的な

書類の文言が、PISA の調査で使われているような学力テストの偏差値が 60 くらいないと実は読み解けないのではないかとされています。従って回答する中で、読み取れない方がいらっしゃったり、読み取れないからもういいということで一時保存で放置してしまったという方がいらっしゃって、最後まで頑張って回答される方は、すごく努力されているか、もしくは容易に読み取れる方だと思います。逆に言うと、読み取れなかった、よくわからないから嫌になってしまったという人の実態が、果たしてどれだけ入っているのかが引っかけられます。全国的にもどうなっているのかというところを見て、本当に声を反映していかなければならないと思います。

【議 長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

【委 員】

これは国からのもう決まったアンケートと聞いているので、どうしようもないのかもしれませんが、先ほど委員がおっしゃったように、例えば 103 ページの地域子育て支援拠点事業についても、とても大まかで、具体的にどのような事業なのか、皆さんどの程度分かっているのかなと思います。市が主催している大きな支援事業なのか、保育所がやっている部分なのか、私たちは地域で子育てサロンなどを多くやっていますが、その中に入るのかわかりません。子育てサロンはコロナ禍で少し減りましたが、また再開して多くやっているの、知っている人は色んな所へ行ってるかもしれませんが、それが地域子育て支援拠点事業に入るのか入らないのか私はわかりません。ということは、子育て中の親子が分かるのかどうかと思います。また保育所や土曜日などに親子で遊ぼうという事業を支援センターでやっていますが、これも入るのかなと私は思います。従って、保育所がやっているのか、支援センターがやっているのか、民間がやっているのか、私たちのように地域のボランティアがやっているのが、それがこれに入るのかどうかわかりません。そうすると、この「利用していない」が 86%というのが本当の数字なのかどうか疑問に思います。また、こどもを見てくれる人が地域にいるかどうかという質問で、今年から赤ちゃん訪問は無くなったのですが、私が赤ちゃん訪問に行っている、実家や地域で見てくれる親やおじいちゃんおばあちゃんがいるという方が結構多く、遠くから来ているという方でも東大阪や和歌山の辺りで、私からすると近いと思いますし、栃木などの遠くから来られている方は本当に頑張っていると思うのですが、見てもらえる人が結構たくさんいるという数字が出たことは逆に良かったと思います。今後第3期を作るにあたって、アンケートの結果がどのように役立てられるのかと思いながら見ていました。

【議 長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

【委 員】

先ほど少し触れていただきましたが、今回アンケートの中で希望の利用開始時間が入っていきまして、現在利用している保護者の方からも引き続き要望の高いところではありますが、実は前回調査されたのが 2018 年ということで、私たち学童保育連絡会の方でその 1 年前の 2017 年にアンケート調査を行っていきまして、その時全学年で 1,100 世帯以上の回答をいただきました。その時に朝の開始時間についての回答が、8時半よりもっと前倒しして欲しい、またお金がかからなければ前倒しして欲しいという回答が合わせて 64%超えていました。やはりそれだけニーズが高いという結果でした。当時から私たちは言い続けてきたので、今回アンケートの中にこの設問があったということも大変嬉しく思います。ただ、1 つ気になったのが、最初に鈴木事務局がおっしゃいましたが、今後の流れとして今回のアンケートを基に量の見込みを分析して、そこをどのように整備していくのかという検討をしていくということでしたが、質の問題や、開始時間というのが、どこまで計画の中に反映されていくのかということが、最初におっしゃられたところにそのような内容が入っていないことが私の中では気になっています。これは国から出されたアンケートの内容ということですが、本当に的を得ているのか、このこと以外にもアンケートの内容が使われていくのであればいいと思いますが、きちんとこのアンケートの内容が活用されるようにしていって欲しいと思います。よろしくお願いします。

【議 長】

ありがとうございます。事務局の方から何かあればお願いします。

【事務局】

以前から開始時間の問題や、質の問題について、ご質問や過去にアンケートを取っていただき、かなり高い数字が出たとお聞きしています。今回も国からの指定のアンケートではあったのですが、そのような項目があり、ある程度高い数字が出ているので、これまで私どもが回答してきたものを含めて、今後どのようにしていくのかというのは、この結果を踏まえて、できることとできないことがあるとは思いますが、業者と市とその辺りを検討した上で計画としてできるだけ反映させていきたいと思います。よろしくお願いします。

【議 長】

ありがとうございます。今回の結果を見ると、コロナがあってやはり働き方が充

実してきていると思ひまして、土曜日に利用する必要がない人が増えていることや、朝の利用時間を延長するというのが 161 ページの 14-4 にありますが、このアンケート結果だけを見ると、前回よりも少なくなっているんで、これはおそらく働き方ではないかと思ひます。今後の施策については、働き方ということが随分変わってきているので、そこに対応した利用方法というものも検討していくといいのではないかとと思ひます。

【委 員】

医者立場から言ひますと、患者さんに対して質問票がありまして、回答するのは 36 項目です。36 項目でもかなり多いので、SF8 といって、8 項目だけ〇をつけるとその中でそれだけで QOL がはかれることになっています。36 項目でもとても多いと思ひていましたが、このアンケートを見ると、膨大な数があり、自由記述もあり、これは疲れるのではないかとと思ひます。これは勝手にできる話ではありませんが、医者としては項目が多いというのが正直な感想です。

【議 長】

ありがとうございます。反対に言うとも、答えてくださった方が本当にありがとうございますというくらいの量だと思ひます。他にご意見やご質問あればお願いします。

【委 員】

112 ページの岸和田市における満足度というのが、真ん中から低い方が多いというのがとてもショックでした。私たちの年代は共働きをしているため、岸和田市には長時間保育があるということで、この場所を選んだものにとっては、これだけ満足度が低くなっているのはどうしてなのかと思ひます。実際に今の働き方の違いもありますが、朝早くから夜遅くまでという保護者の方の働き方やどうしてもそのように働かなければならない人がいるので、私たちが子育てをしていた時よりも、今の子育ては危険な面が増えているので、市の施策についてもこどもの安全を 1 番に考えた上での施策ということで対応していかなければいけないと思ひます。職員の働き方も含めた上で、こどもの安全や親の働きやすさや住みやすさということを考えて対応というのをしっかり考えていかなければいけないと感じました。

【議 長】

ありがとうございます。特に小学生の共働き家庭が多く、90%以上が共働き家庭となっているので、やはりその辺りも検討していかなければいけないと思ひます。他にありましたらお願いします。

【委 員】

今時間の話もありましたが、小学校は放課後児童クラブがあり、放課後だから朝はないと言う話がここで1度出たと思いますが、私どもの幼稚園では長時間の預かり保育の方はあまり来ていませんが、それでも1番早い方で8時です。こども認定園だと7時から預かることになっています。それで、うちに年長さんで早く来ているお子さんや、こども認定園に行っているお子さんは小学1年生になったらどうするのかということをいつも思っています。小1プロブレムと言いますが、やはり保護者の方も大変で、その時間までこどもを待たせているのかと思い、未就園児には預かりの場所があるのに、それが繋がっておらず、小学校に行くと切れてしまうというのはどうなのかと、私たちの園からは卒園してしまうので、あまり強い関心を持っていなかったのですが、お母さんたちは仕方がないから家で見ているというはあると思います。最近、どこかは忘れてしまいましたが、早く登校させるというやり方を小学校で始めたいが、利用者が少なく、予算ばかりがかかり今後どのように続けていくのかという話が出ていたと思います。やり方的に保護者がこどもを小学校に連れていかないと預かることができないという条件をつけたので、使いづらさがあるのではないかとこのころがあったので、やはり新しい制度を設けていくことは難しいところだと思いますが、こどもを大きく成長させる親御さんにとっては、未就園児の施設から小学校に行く時の方法を保護者側にも立って考えていただきたいと思います。せっかくここでそのような数字が出ているのであればそのように持って行って欲しいと思います。また、33ページで数字的に少ないところがありますが、数字的に少ないというのは利用する施設が少ないからなのか、それとも周知できていないのかという辺りで、このアンケートも量も多く、これを基にどこを取捨選択して、取り入れていくのかということは大変ではありますが、数字が少ないところは切り捨てられるのか、できないのか、というところがあるので、どのようにこれを利用していくのかというところが見通すことができません。私どもはこれだけの情報をもらって、子育て会議を行い、これに決まりましたというだけになるのではないかとと思うところもあります。期待感もありますが、不安感もあるということで、この状況をしっかり確認していただきたいと思います。

【議 長】

ありがとうございます。他にご意見、ご質問、ご感想でも構いませんのでありますか。

【委 員】

早朝の小学校についてですが、小学校は大体何時から行けるのでしょうか。

【委 員】

あまり学校の方に早く来られても、誰もいないところで、門の前で子どもたちが待っているという状況は良くないので、登校の時間は決めさせてもらっています。本校だと 8 時からとなっていますが、実際には門を開けて子どもたちを入れるのは 7 時 40 分で、7 時 50 分に鍵を渡しています。私が大体 7 時 35 分くらいに門のところに着くのですが、何人か子どもが開いていない門の前で待っています。実態はそのような感じです。

【委 員】

逆にそれ以上に早いお子さんがいるのでしょうか。私の家は中学校が隣にあり、1 か月に 1 回朝の挨拶運動が 7 時 40 分くらいにあります。その頃に中学校の辺りから小学校へ歩いて行く子どもがいるので、多分着くのは 8 時頃かなと思いますが、それよりも早く行かれるお子さんがいるのか、その場合どのような対応をするのかお聞きしたいです。

【委 員】

今、私は本校 3 年目ですが、もう少し早く子どもを迎えて欲しいという要望を直接お聞きしたことはないです。先ほどご説明した時間で、朝早く来ている子どもたちもいますが、それでなんとかいけていると思います。

【議 長】

ありがとうございます。

【委 員】

前段の回答率の話ですが、40 何%というのは高いと思います。一般に対象を決めて、この学校内でのアンケートというように絞り込むと回答率は上がりますが、不特定多数に質問を投げた場合の回答率はどうしても 4 割弱になると思います。それでも全体の意見を反映しているとして、施策を考えていくというのが行政の立場なのだろうと思いました。

【議 長】

ありがとうございます。

【委 員】

私の小学校では、7 時半までに来ている子はいます。私は朝方仕事をするタイプなので、6 時 40 分頃には学校にいますが、もうその時間に来ている職員もいまして、あまり良くないとは思いますが、朝早く来て、養護教諭などに話をして気持ちを落ち着かせている子どもがいるのも事実です。絶対的に早く来ることがいけない

とも言っていないし、どちらかと言うと遅い方が怖いので、本校は遠い子は遠いので、30分も40分もかけて来ている子もいます。従ってかなり早く家を出ていると思いますし、地域の方も7時15分頃から色々な場所に立ってくださってこどもの登校指導をしてくださって大変助かっています。これは私の立場から言うと非常に難しく、早く来すぎるのも怖いですし、遅いのも嫌だと思うので、できれば8時前後と思いつつも、やはりそれぞれの家庭の事情もあると思いますので、特に指導は入れていないです。遅いのは心配なので遅刻はしないようにという話もしますし、早すぎても困るということは言っていますが、それは地域の実態によるかと思います。それから先ほどおっしゃられたように、この難しい質問で47%回答があるというのはすごいと思います。これを最後までやる方というのはすごくレベルが高いと思います。これは最後まで答えることができる方のアンケートになっていると思い、今色々な方がおられるので、ルビを振ったり、難しい漢字をひらがなにしたりということをして、ここまでの回答はなかなか難しいと思いますが、かなり高い回答率と思います。222 ページで小学校についてのところを読んで、教員の量質の向上や、教育内容の充実と見直しやいただいた意見に関しては頑張ります。

【議 長】

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【委 員】

私は4人子どもがいるのですが、1番上の子が年長で来年小学校に上がるのですが、よくママ友の間でも小学校1年生の壁というのがあり、1年生に上がる頃に、母親の就労の体系を変えていかないといけないという話をよくします。私は今公立の幼稚園で働いているのですが、時短勤務で働いていて、こども達4人とも他市の認定こども園に通っているのですが、送り迎えの時間をバス利用しようと思ったのですが、そうすると、仕事の就労時間に間に合わず、今送り迎えをしている状況です。しかし、来年1番上の子が小学校に上がると、通学の時間と下3人の子供たちを保育園に送っていく時間帯が合わなくなってしまうので、時短勤務でも難しくなると思いました。やはり私自身、小学校1年生の壁というのは大きく、私の母親達も遠くに住んでいるため頼ることができず、4人を育てている状況なので、今の仕事は小学校に上がるタイミングで切り替えなければいけないのではないかと、今のお話を聞いて感じました。

【議 長】

ありがとうございます。他にございますか。

【委 員】

夏休みの朝の話になりますが、実際の保護者の方からすると、深刻な問題だと思います。夏休みなどの長期休暇になると毎朝出勤するとき1、2時間の時間休を取って、仕事に行っているという話もあります。本来就労保証するというのが、学童保育の大きな目的の1つではあるので、そこが果たされているのかどうかはかなり疑問だと思います。働かなければならないし、そのために色んなサービスを利用したいが、サービスに合わせるしかないという実態があります。学校の朝の時間については実際に私の息子たちは小学校にとっても早い時間に行ってましたが、入っていたのかはわかりません。先ほど先生が保護者からの要望は聞いたことがないとおっしゃいましたが、多分保護者は知らないと思います。結構子どもたちは勝手に行くので、保護者は行くことができると思っています。7時代前半くらいの時間帯でも子どもたちはすでにランドセルを背負って歩いている姿があるので、学校の方が開く時間までどのように過ごしているのかはわかりませんが、学童に行っている子どもたちは門の前で待っている状態です。

【議 長】

ありがとうございます。他にございますか。

【委 員】

自由回答のところで、219 ページの小児科・産婦人科の充実のところで意見がありますが、子ども何人くらいに対してどのくらいの医療施設があると十分であるかというのはわからないのですが、岸和田市の小さい子どもが病気になった時に内科で見てもらえるのか、小児科の方がいいという話になったりすると思うのですが、そのような施設が岸和田市にどのくらいあるのかわかりますか。例えば、最近昔からあった小児科が無くなったと聞きまして、それを岸和田市の方で無くなっては市民が困るということで誘致などできるのでしょうか。

【議 長】

分かる範囲で事務局の方いかがでしょうか。

【事務局】

申し訳ございませんが、担当部局ではないので、その辺りの医療に関しましては分かりかねます。

【議 長】

ありがとうございます。

【委 員】

今のところ岸和田市民病院に産科があります。徳洲会もあります。しかしもう「ありました」になるそうです。それから久松マタニティクリニックが1番出産が多いと聞いています。割と岸和田市の産科は少ないと思いますので、そのようなことを自由回答でおっしゃっているのではないかと思います。段々と産科も少なくなって、小児科もそのような感じで成り手がなくなっていくかそのような感じになってきていると思います。

【議 長】

ありがとうございました。それでは、一旦これで終了とします。貴重なご意見ありがとうございました。

議題(2) その他について

【事務局】

次回の「第32回岸和田市子ども・子育て会議」についてですが、7月19日(金)午後2時よりこちらの会場で開催をする予定になっております。改めて正式な日時等決まりましたら、委員の皆様方にはご案内差し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。また、傍聴の方につきましては、本日の資料については会議終了後回収いたしますので、お持ち帰りにならないようよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

【議 長】

ありがとうございます。以上で本日予定していた議案は全て終わりました。委員の皆様方のたくさんご意見やご感想、ご協力ありがとうございました。

これを持ちまして第31回岸和田市子ども・子育て会議を閉会といたします。ありがとうございました。